



東光寺小学校学校運営協議会通信

No.23

平成 30 年 6 月 29 日

東光寺小学校学校運営協議会発行 会長 奥住 方彦



よき伝統が生きる学校

校長 高橋 大造

4月に入学した1年生も、1年生を迎える会、学校探検、運動会等を通して東光寺っ子らしい顔つきになってきました。また、上級生はいろいろな場面で下級生の面倒を見る機会を得て、それぞれの学年に合った成長を見せてくれています。特に6年生は、入学式以来、学校の代表として東光寺小学校を支えてくれています。1年生も6年生に面倒を見てもらうことで学校に対する不安感が薄れてきたように思います。このつながりが東光寺小学校のよき伝統となり、受け継がれています。

先日、PTA総会並びにPTA歓送迎会に参加させていただきました。皆様のお話をうかがう中で、今まで諸先輩の皆様が守り育てられてきた東光寺小学校のよき伝統を伸ばし、さらに新たなよさを加えてよりよい伝統へと高めていくことの大切さを痛感しました。

公立学校である東光寺小学校は、保護者・地域の皆様との連携・協力がなくては、教育活動を進めることはできません。学校で学んだことを実際に体験する場としての家庭・地域の役割も、大きなものがあります。子供たちのよりよい成長のためにも、家庭・地域・学校が共に望ましい教育環境をつくっていただけることを願っています。

学校教育は、新学習指導要領の改訂及び移行措置の前倒し報道以来、待ったなしの対応を迫られています。公立学校においても、今まで以上に特色を出すことが求められています。

本校は、今まで特色ある教育活動として、地域を生かした体験的な学習を中心に活動してまいりました。これからは、地域に何ができるか、地域への貢献の立場に立った活動を行ってまいります。

また、学力については、今まで以上に基礎・基本の定着を図ることはもちろんですが、自分の考えを自らの力で表現すると共に、新たな課題に対して、子供たちが自分の考えを出し合い、解決方法を考えしていく力も必要とされています。

そこで『平成 30 年度日野市教育委員会研究奨励校』の指定を受け、特別活動を研究してまいります。担任一人一人が学級経営力を付けると共に、自他を大切に、判断できる子供を育てていきます。

これからも、地域に根付いた学校として努力を続けてまいります。子供たちは地域の一員として、どのような場においても相手を思いやる態度を身に付けるよう指導してまいります。その第一歩は「あいさつ」です。これは子供たちばかりでなく、大人同士の人間関係を豊かなものにするためにも大切です。教職員も積極的に地域と関わりをもつように努力してまいります。どうぞ、気軽に学校へお声掛けください。学校からも「学校だより」や Web サイト、校門の掲示板等で情報を発信いたします。

本年度も、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

≫≫≫ 各部からの活動報告 ≪≪≪

【環境部】

東光寺にはきれいな芝生があります。それはPTAを軸としたボランティアの皆さんの手があってこそ。芝刈りをして雑草を抜いたり、痛んでいるところには新しく植えて増やしたり…。時には小雨が降り、時には太陽が照りつける中での地道な作業のおかげです。

今年度もみなさんのご協力をいただきますが、子供たちのために、どうぞよろしくお願いいたします。(佐藤 彰子)



【学習部】

6月2日(土)、晴天に恵まれ、第40回運動会を迎えることができました。近隣の方々から、毎日早くから熱心に練習を頑張っている様子を聞いており、子供たちの元気な姿をワクワクしながら見させていただきました。

普段とは違った子供たちの緊張感ある表情、やりきった後の達成感たっぷりの笑顔は、この日のために努力をしてきた証です。高学年児童は下級生に気を配り、力強さあふれる堂々とした態度から、大きな成長が感じられました。低学年児童もとても楽しそうに、そして真剣に取り組んでいました。全学年を通して仲間と協力し合い、それぞれが力を出し切り、まさしく今年のスローガン「助け合い 笑顔で全力 勝ちにいこう!」を実現しているのを目の前に見て、とても感動しました。

先生方のご指導の下、安全に運動会が行えたことを非常にうれしく思うとともに、東光寺小学校の素晴らしさを実感いたしました。
(正井 和美)

【安全・安心部】～給食試食会に参加して～

新学期早々、昇降口に入ると、だしの香りと調理する音が聞こえてきます。入学して1週間の1年生も給食指導が始まりました。「からあげのお肉が大きいよ。」「牛乳びんで飲んだよ。」「お替わりしたの。」「美味しいから大好き。」と矢継ぎ早に答えてくれる子供たち。脱脂粉乳世代にとっては「今どきの給食事情は!!」との思いから、昨年度、日光移動教室中に開催された試食会に参加させていただきました。

栄養士の篠崎先生との懇談会では色々な話が聞けました。限られた予算の中でも食材や調味料に至るまで産地や品質を重視していること、作業工程ごとにエプロンを使い分ける等、衛生管理を徹底していること、作り手の調理員さんの体調管理も怠ることなく、毎回時間内に450食以上の給食をチームワークよく、学級ごとに分配して白衣姿の当番の到着を待っていること、万一に備えて2週間分の食材と給食を冷凍保存していること、粉せっけんで片付ける等、環境への配慮が細部まで徹底されていること。

アレルギー対応等、取り組んでくださる担任の先生方、野菜を届けてくださる地元農家の方々を始め、多くの方々が支えてくださってできあがった給食。それを校長先生が「検食」、いろいろな分野で進んでいる現在でも、最後は「人」という流れが昔から引き継がれていることに驚きました。

その日の献立は鯖の味噌煮。ふっくらとしているのに味がしみていておいしい。チーフから「オープンで焼く工程を入れてあります。」と。家庭ではなかなか食卓に上がりづらい食材も入れる工夫で、学童期にいろいろな物を食べることができています。食の安全は学校教育にとっても大きな柱、「命をいただく」学びの時間。おいしくいただきました。ごちそうさまでした。
(三好 啓子)

東光寺小学校の昔の写真をシリーズで掲載します。

地域の方より、ご提供いただきました。

来年は
創立40周年です



昭和51年12月 小学校建設前の風景



昭和53年12月 小学校建設中の風景

40周年に向けて、東光寺小学校の様子や子供たちの様子、学区の様子分かる昔の写真を探しています。ご提供いただける方は、副校長中川(584-6200)までお知らせください。